

2度目の議員辞職勧告決議案を可決

令和6年第3回高梁市定例会では、市長提出の議案等12件のうち6件について報告を受け、1件を承認とし、残り5件を原案のとおり可決しました。併せて、追加提出された工事請負契約に係る議案1件を原案のとおり可決。団体から議会に寄せられた請願1件を不採択としました。また、議員発議の乙議案として川上修一議員に対する議員辞職勧告決議案が提出され、原案のとおり可決しました。



■総務文教委員会

総務文教委員会では議案4件、請願1件の計5件を審査し、議案は全員一致で可決しました。

請願「少人数学級の拡充及び教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について」は、賛成反対の討論もあり意見が大きく分かれましたが不採択となりました。

■産業経済委員会

産業経済委員会では議案3件を審査しました。「令和6年度高梁市一般会計補正予算(第2号)」では委員から、観光DMOの体制強化のために地域活性化企業人派遣事業を上手に活用し、市の産業の発展へつな

がる取り組みにしていたかという意見がありました。また、議案第62号広瀬地区緊急避難施設建設工事請負契約について、材料調達はできるだけ市内業者で調達するよう、チェックしていただきたいという意見がありました。

川上修一議員に対する議員辞職勧告決議

市民生活委員会では議案3件を審査しました。「専決処分の承認を求めることについて」については承認すべきものと決し、議案第59号「高梁市病院・診療所等使用料及び手数料条例の一部を改正する条例」、議案第60号「令和6年度高梁市一般会計補正予算(第2号)」については全員一致で可決しました。

川上修一議員が銃刀法違反などに問われた刑事裁判において、令和5年11月28日に有罪判決と罰金50万円が確定しました。

これは令和3年に有害鳥獣駆除以外の目的でライフル銃の発射をしたとして、銃刀法および火薬類取締法に抵触し在宅起訴されていた事案です。川上修一議員は、有害鳥獣駆除のための活動であり法令遵守との認識により係争していましたが、有罪判決が確定しました。

告決議案が提出され、乙議案として上程されました。決議案では、公職である市議会議員が裁判において有罪判決を受け、さらにその判決が確定したという事実は、高梁市議会基本条例第15条に抵触し、市民からの信用を著しく失墜させ、高梁市議会の名誉と品位を著しく損なわせた。市議会議員としての政治的、道義的責任を免れず、議員の職にとどまることは許されるものではない。事態の大きさを真摯に受け止め、速やかにその職を辞することを求めるものでした。

議案に対して、「不祥事を起こした議員の進退は自らが判断すること。昨年も同様に議員辞職勧告が出され決議されているが、再び決議案を出すことは、議会の権威の失墜にもつながると考え、議案の取り下げを求める」といった意見が出されました。採決では2名が退出し、賛成10名、反対3名の賛成多数で可決されました。

討 論

石部 誠 議員

議案第56号専決第3号、国保税条例改正。国保税の課税限度額の引き上げで27世帯が該当し全体で54万円の増税になる。従前に「国保の約5億6000万円の基金活用で数年間は増税をしなくても済む」との説明に離反する増税案に反対する。

金尾 恭士 議員

議案第60号の一般会計補正予算に含まれている観光DMOは計画の策定、申請、認定、具体化とされるべきだが、計画策定がないまま申請を行い、派遣人材が担わされる逆の計画になっている。他にも国の制度活用が先行した計画が散見この計画は返上を含め見直しが必要と考え反対する。

広瀬地区緊急避難施設建設工事請負契約について反対するものではないが、落札率が98.7%と高い結果があり注視すべきと考える。請願については、教育状況や学校現場の改善のため採択を求める。

宮田 好夫 議員

上程された全ての議案に賛成する。議案第57号についてはマイナンバーの取り扱いや管理には細心の注意が必要である。議案第60号の補正予算の臨時特別給付金は対象者への迅速な給付をお願いする。

広瀬地区緊急避難施設建設工事請負契約は、近年の降雨状況を鑑み早い完成を望む。

請願は、「少人数学級の拡充及び教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について」であり、採択を求める。社会環境の変化から教職員の取り組み課題は多種多様になり、業務の複雑化や成り手不足が深刻な状況。若手教員への支援体制の充実、管理職を補佐するポストの新設、学級担任の持ちコマ数を減らすことなどを求めている。

高梁市議会として政府に意見書の提出を求める。

平松 久幸 議員

全ての議案に賛成。議案第60号について、CCC(カルチュア・コンビニエンス・クラブ)から、観光DMOの再構築として人材2名を採用し取り組みに注視したい。議案第61号の下水道事業「落合下水道管の改修事業」は、工事中の落合雨水ポンプ場の横である。推進工法は費用面や近隣住民への影響が最小限になるよう、よく調査してほしい。

広瀬地区緊急避難施設建設工事請負契約については、工事予定価格に対して落札率98.7%は高落札であり、95%以上は他自治体では調査され、県の審査会でも指摘される。漏洩から職員を守る面からも予定価格の公表も取り入れるべきと思いい注視する。

6月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

	石田	大月	宮田公	川上博	倉野	川上修	小林	宮田好	石部	三村	石井	森	森上	伊藤	平松	新倉	金尾
議案第56号	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●
請願第1号	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
乙議案第2号	—	●	●	○	退	除	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりませんが、賛否が同数の場合は、議長が裁決します。
※他の議案は全会一致で可決しました。

観光DMOとは
地域の「稼げない」「地域の愛着や誇り」「観光地域づくりの司令塔」などを進める国から認可を受けた法人。